

## 北海道新幹線等新交通体系と観光資源の利活用に関する調査特別委員会（第8回）

令和2年10月30日（金曜日）午前9時20分開会

---

### ○案件

1. 現地調査について
  2. その他
- 

### ○出席委員（9名）

委員長	田村敏郎	副委員長	川村主税
委員	神崎和枝	委員	平松俊一
委員	上野武彦	委員	坂本繁
委員	中川友規	委員	若山雅行
委員	青山金助		

---

### ○欠席委員（0名）

---

### ○委員外議員（0名）

---

### ○出席説明員（2名）

総務部長 釣谷隆士      総務部政策推進課長 中村雄司

午前9時20分 開会

**○田村委員長** おはようございます。第8回の北海道新幹線等新交通体系と観光資源の利活用に関する調査特別委員会を開催いたします。

前回10月19日に打ち合わせしたとおり、その前に中川委員から遅参する旨の届出がありましたので、報告いたします。

今日は現地調査をして、その後、役場のほうから峠下の道路の関係の説明を受けるという手順でいきたいと思いますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

暫時休憩いたします。

午前 9時21分 休憩

---

午前11時53分 再開

**○田村委員長** 休憩前に引き続きまして再開いたします。

1番目の現地調査ということで、峠下、西大沼からそれぞれ、北海道縦貫自動車道のトンネルの進捗状況を見学してきたわけでありまして。

これに関しまして、先般もお話ししたしましたが、令和3年度予算施策に関する要望書ということで、北海道渡島総合開発期成会のほうから、北海道縦貫自動車道の整備促進に関する要望ということで、北海道縦貫自動車道七飯藤城インターチェンジから大沼公園インターチェンジ間の早期実施というような要望書を出されておりますし、また、その中には重点要望事項として、北海道縦貫自動車道の整備促進ということで、七飯藤城インターチェンジから大沼公園インターチェンジ間の早期整備というようなことを期成会として早期に予算をつけて実現してもらいたいというような要望書を出しておりますけれども。

これに関連いたしまして、七飯町として峠下の状況、そこら辺をどういうふう考えているのかというものを、一応議会としても念頭に置きながら、この特別委員会の方向性に必要な部分でありますので、そこら辺を町のほうから説明をしていただきたいというふうに思いますので、町のほうで説明のほうをよろしくお願ひいたします。

総務部長。

**○釣谷総務部長** 私のほうから、町の方向性とい

いますか、峠下地区という部分での考え方ということですので。

普段から町長は、議会の中でも申し述べているとおり、あそこは交通の要衝という観点からすると、北海道新幹線新函館北斗駅、新駅ができて、さらにそれも札幌まで延伸になるというのも続いておりますし、今回特別委員会でも視察を行った縦貫自動車道のトンネルの現場のほうも見ていただいたとおり、それが完成するに当たっては、まさしくあそこ峠下地区というのが、道南の交通の要衝になるということが、どんどんどんどん現実化しているというか、目に見えてきているというような状況になっているというふうに町も捉えておりますし、そういうふうになっていってほしいというふうにも思っております。

さらに、峠下地区に関しましては、道の駅の整備をはじめとして、着々とそういうもの、流動人口というのですか、そういうものの受け入れ、活性化といいますか、そういうところに対しての対策も順次講じてきているわけですので、峠下地域につきましては、これから七飯のある意味発展の一つの要になる地区であるというふうに町では考えているというふうに捉えていただきたいというふうに思います。

以上です。

**○田村委員長** 今、町のほうから説明というかお話ありましたけれど、これについてももう少し例えば、北海道縦貫自動車道、これが国あたりも全然動きがないのですけれども、町として、もう少し一歩踏み込んだ形で、こういうような形にしたいというのか、あるいは、北海道の先ほどのような期成会の考え方に沿った形でいくということになれば、早く予算をつけて早く実現してもらいたいということに、それに追従しながら町としてもいくのか。

具体的に、峠下から藤城に向かってのそこら辺を町としてどうしたいのかという考え方をお持ちか、お持ちでないか、そこら辺ももう少しわかる範囲であればお話しいただきたいと思いますけれども。

総務部長。

**○釣谷総務部長** もう少し具体的にということ

で、藤城のインターからトンネル抜けたところのインターまでの区間についての部分だろうなと思っております。

その部分につきましては、予定の線がまだ書かれていない状況になってございまして、どういうルートを通っていくのかというところは示されておりません。

現時点ではうちとしても、そのところは歯がゆいところということころではあるのですが、以前町長も本会議の中で議員の質問に確か答えていたと思います。どういう形であれ、道の駅への誘導というのですか、通路そういうものを取り入れて、そのところから新道に乗っていけるような交通ルートに側道というのですか。そういうものを付けて設計してほしいということは、国のほうにも要望して、担当のほうにも要望していく、というような形のことを議会の中でも答弁を町長がしております。

今の時点では計画路線というのが示されていない中では、示される前にそういうところを町としても要望してまいりたいというふうに考えておりますし、その時に、町だけではなく、できれば議会、特別委員会そういうところともがっちり手を組んで、七飯町として全体だよというような、そういう要望活動ができれば一番よろしいのではないかなと考えてございます。

以上です。

**○田村委員長** ありがとうございます。そうすると、町としても取付道路そういったようなものを、全体的な縦貫自動車道のルート、どういう流れでいくのかというのが見えないけれども、その際には、取付道路等を要望していくのだと。具体的ところは今のところないけれども、道の駅との取付、こちら辺を町としても峠下の交通の要にしたいという観点からすれば、取付道路等を、利便性を考えたものを取り付けながら進めていきたいというような考え方でよろしいでしょうかね。

(「はい」と呼ぶ者あり)

**○田村委員長** よろしいですか。そういうような町の基本的な考え方今述べられましたけれども、それに関しまして何か質問ありましたら出していただきたいと思いますけれども。

特になければ、そういう町の基本的な考え方に基づいて、峠下地区の部分について、特別委員会としてそこら辺を念頭に置きながら具体的にどういうふうな利活用をしていくのかというのは今後の考え方だと思うのですが。

具体的な議論はさておき、そこら辺の考え方を念頭に置きながら、特別委員会は今後ともそれをもとに色々具体的な提案等あれば、していくという考え方で進めてよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

**○田村委員長** 今のところは具体策がないものですから、そういう方向で進めていくということでもよろしいですね。

その他ということで、次回特別委員会いつ開催していくかということですが、これから11月、12月になれば、定例会等色々行事も詰まってくると思いますので、私と副委員長と事務局のほうで調整しながら開催していきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

**○田村委員長** では、そのように決めさせていただきますので、決まりましたらご協力のほうよろしくお願いいたします。

それでは、今日はこの辺にとどめてまいりたいと思います。町のほうから出席どうもありがとうございました。

以上で特別委員会閉会をいたします。

ご苦労様でした。

午後0時3分 閉会

